

- 1.医療を受けられる方の権利を尊重し、説明と納得・信頼の医療を追求します。
- 2.医療安全に努め、質の高いチーム医療とあたたかな看護を実践します。
- 3.救急医療の充実に努めると共に、災害医療にも対応できる病院を目指します。
- 4.地域の福祉・医療機関と連携し、疾病治療と予防医療を推進します。
- 5.継続的な地域医療を実践するため、経営の安定化に努めます。

看護部長就任のご挨拶

この度、令和8年4月1日付けで看護部長を拝命いたしました水谷清美です。

5類となった新型コロナウイルスは、今も収束する気配はなく、慢性的に感染が続いており、「ウイズコロナ」の状況です。病院に来院される皆様には、感染防止に対するご理解やご協力を頂き、本当にありがとうございます。今後も、感染に留意し、安心して受診や入院をして頂けるように努力してまいります。

また、少子高齢化や医療ニーズの多様化に加え、物価高や人件費の上昇などで、日本の医療体制は厳しい現状でもあります。私たち看護師は、専門職として質の高い看護が提供できるように自己研鑽に努めて

まいります。そして、どんな時も、患者様やご家族の心に寄り添う温かい看護が実践できるよう、思いやりとやさしさのある看護師の育成に取り組んでまいりたいと思います。

これまでと同様にご支援とご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願いいたします。



看護部長
水谷 清美



花粉症に注意しましょう



花粉症の季節がやってきました。花粉症の正体は花粉に対して人間の体が起こすアレルギー反応です。体の免疫反応が、花粉に過剰に反応して花粉症の症状がでるのです。くしゃみ・鼻水・鼻づまり・目のかゆみ、人によっては、頭痛・体のだるさ・イライラ感など、さまざまな症状がでることもあり、意欲が低下して日常生活にまで支障をきたすことがあります。そんな厄介な花粉症でも、できるだけ快適に過ごせるように対策を立てていきましょう。

マスクをつけましょう

マスクは、花粉の飛散の多いときには吸い込む花粉をおよそ3分の1から6分の1に減らし、鼻の症状を少なくさせる効果が期待されています。

うがいをしましょう

鼻の粘膜には線毛があり、粘膜の上の異物を輸送します。うがいは、のどに流れた花粉を除去するのに効果があります。家に帰ったらうがいをしましょう。かぜの予防にもなります。

洗顔しましょう

花粉が人間に付着しやすいのは表面に出ている頭と顔です。外出から帰ってきたら洗顔して花粉を落としましょう。

花粉を持ちこまないようにしましょう

外出後や洗濯物を取り込む際は、衣服などからしっかり花粉を払い、家の中に花粉を持ちこまないようにすることが大切です。